

令和元年度横須賀地域の関係機関における小児在宅に係る取組内容

中核機関・コーディネート役の設置

参考資料2

平成30年度第二回横須賀地域小児等在宅医療連絡会議において提案された内容					
番号	課題詳細	考えられる取組み		提案機関	協力を得たい関係機関 ※ () で記載されたものは会議 委員外の関係者を含むもの
		項目	詳細		
1	決まった調整役がおらず、また個別性も高いため、情報集約や事例積み重ねが困難	相談窓口や中核機関の設置 (コーディネート役)	年齢(ライフステージ・ライフサイクル)に合わせてワンストップで受け止め、他分野・他機関に繋ぐことのできる窓口等の設置	横須賀市立うわまち病院 社会福祉法人 海風会 社会福祉法人 みなと舎	横須賀市、各関係機関、(各相談支援事業所) など
	小児在宅に関するバックアップ体制不足		横須賀市医師会		

今後の取組内容(案)					
事務局整理案	令和元年度スケジュールイメージ				備考
	第1四半期 (4月~6月)	第2四半期 (7月~9月)	第3四半期 (10月~12月)	第4四半期 (1月~3月)	
実施主体 協力機関 実施内容	実施について検討		状況報告	状況報告	
横須賀市関係各課 各関係機関 中核となる機関・コーディネート役を担う存在の設置について検討を進める					

各分野間の役割共有(ネットワーク・サポート体制構築)

2	横須賀地域小児等在宅医療連絡会議の実施	横須賀地域の関係機関が地域の課題や取組について意見交換を行う	県医療課 子ども青少年支援課	関係各機関
3	支援者同士の分野を超えた横の繋がり不足	支援に携わっている現場レベルの職員が、情報を共有出来る機会を設ける(連絡会議、検討会、ケース会議など)	社会福祉法人 海風会	学校、(各福祉サービス事業所、訪問看護事業所、障害とくらしの支援協議会子ども支援連絡会) など
4			よこすか訪問看護ステーション	各関係機関
5	情報共有の場の設置	横須賀地域の方が県総合療育相談センター外来を利用された場合に、関係者でのケース会議を実施して支援機関のつながりを作る。	県総合療育相談センター	-
6	連携ルートが見えづらい	各種研修等の実施	地域包括ケアシステム推進のために実施している、市民啓発、各職種の連携推進、人材育成のため研修等の枠組み利用	横須賀市 市医師会、その他関係機関など

実施主体 協力機関 実施内容	県医療課・横須賀市子ども青少年支援課 各関係機関 「横須賀地域小児等在宅医療連絡会議」の継続した開催	会議開催 (10月頃)	会議開催 (2月頃)		
実施主体 協力機関 実施内容	社会福祉法人 海風会 学校、福祉、教育、看護関係各機関 連絡会議や検討会の実施に向け関係機関と検討	実施について検討	状況報告	状況報告	
実施主体 協力機関 実施内容	よこすか訪問看護ステーション ケース毎の関係者 引き続きケース会等の実施により新たに対象児が発生した際の連携強化に努める	順次実施	状況報告	状況報告	
実施主体 協力機関 実施内容	県総合療育相談センター ケース毎の関係者 引き続きケース会等の実施により新たに対象児が発生した際の連携強化に努める	順次実施	状況報告	状況報告	
実施主体 協力機関 実施内容	横須賀市役所・横須賀市医師会 テーマごとの関係機関 医療的ケア児に関する研修の実施に向けて予算やスキームを検討する	実施について検討	状況報告	状況報告	

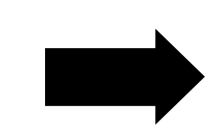
各分野毎の取組み(資源不足への対策)

7	小児への訪問診療が浸透していない	在宅医に対するバックアップ体制不足の解決	①在宅医から病院小児科医に対する相談体制を整える ②在宅医療委員会で検討	横須賀市医師会	うわまち病院 横須賀共済病院 訪問看護ステーション
8	小児等在宅医療(医療的ケア児含む)に関する情報の少なさ	研修会等への参加 在宅医療委員会で検討	同左	横須賀市医師会	うわまち病院、 横須賀共済病院、 訪問看護ステーション 小児科医会
9	医療デバイスの量差や当事者の三次病院への依存	退院支援の実施	三次病院から二次病院を経由して、訪問診療につなげてから自宅に退院する	横須賀市立うわまち病院	(大学病院、) 子ども医療センター、市医師会 など
10	小児への訪問診療が浸透していない 障害に理解のある小児科医の不足	各種研修等の実施	地域包括ケアシステム推進のために実施している、市民啓発、各職種の連携推進、人材育成のため研修等の枠組み利用	地域医療推進課	市医師会、その他関係機関など
11	一時預かり場所の不足	放課後等デイサービス勉強会の実施	医療的ケア児を受ける事業者が増えるように、現在受け入れている事業所の勉強会等を実施する	横須賀市療育相談センター	(市内の事業所等)
12		①事業所に対する支援 ②新規施設の設置	①ライフゆうへの市としての支援(レスパイト枠の拡大) ②うわまち病院移転時の施設拡大(重心施設設置)	横須賀市立養護学校	ライフゆう、うわまち病院、市役所関係部署 など

実施主体 協力機関 実施内容	横須賀市医師会 うわまち病院、横須賀共済病院、訪問看護ステーション 在宅医⇄病院小児科医の相談体制構築に向けて必要な取組みの検討を進める	実施について検討	状況報告	状況報告	
実施主体 協力機関 実施内容	横須賀市医師会 うわまち病院、横須賀共済病院、訪問看護ステーション、小児科医会 順次研修へ参加・委員会で検討	順次実施	状況報告	状況報告	
実施主体 協力機関 実施内容	うわまち病院 ケース毎の関係者 新たに対象児が発生した際の連携強化に努め、円滑な退院を目指す	順次実施	状況報告	状況報告	
実施主体 協力機関 実施内容	横須賀市役所・横須賀市医師会 テーマごとの関係機関 医療的ケア児に関する研修の実施に向けて予算やスキームを検討する	実施について検討	状況報告	状況報告	
実施主体 協力機関 実施内容	横須賀市療育相談センター 市内の福祉事業所 放課後等デイサービス勉強会の実施に向けて検討を進める	実施について検討	状況報告	状況報告	
実施主体 協力機関 実施内容	横須賀市関係各課 横須賀市役所内で検討を進める	実施について検討	状況報告	状況報告	

## 令和元年度横須賀地域の関係機関における小児在宅に係る取組内容

13	支援者同士の分野を超えた横の繋ぎの不足、チームケアの体制が取れていない	相談体制の充実	<行政・相談支援事業所との連携> 医療的ケア児の重症心身障害児の相談体制の充実を図る（療育手帳の申請・更新・重心理定）	横須賀市児童相談所	横須賀市関係部署 うわまち病院 市医師会 など
14	ライフステージ切り替わり時の繋ぎ・連携	保護者支援、連携調整の実施	退院時の医療と地域の連携調整 乳幼児期の支援を通じた関係機関の連携調整	こども健康課	療育相談センター 障害福祉課 市医師会 (各福祉施設) など
15	移動支援（福祉サービス）が利用できない	移動支援の充実	①移動支援のサービス報酬に医療ケア加算を設ける ②訪問看護ステーションに移動支援事業者になってもらう ③医師のバックアップを得る	横須賀市障害福祉課	(各移動支援事業者、訪問看護ステーション、医療機関) など
16		看護師確保に向けた取組み	報酬面だけでなく、勤務時間について理解を求め、子育て世代等の潜在的な看護師確保に努める	横須賀市教育委員会 支援教育課	(各訪問看護ステーション) など
17	教育の場における看護師確保が困難	看護師確保に向けた取組み	市内総合病院、訪問看護ステーション、ネットワーク等での人材発掘を行い、看護師の確保に努める。	横須賀市教育委員会 支援教育課	(各訪問看護ステーション、) 市立養護学校 など
18	小児に対応できる訪問看護ステーションの増への課題	看護師確保に向けた取組み	看護師の研修の場の一つとして市立養護学校の活用（訪問看護ステーション看護師・市所属看護師等）	横須賀市立養護学校	(各訪問看護ステーション)、市役所関係部署 など
19		看護師確保に向けた取組み	小児の訪問看護を行っているステーションでの同行訪問、実習	よこすか訪問看護ステーション	(訪問看護ステーション、障害施設)
20	人材育成研修の不足	各種研修等の実施	心身障害児療育機関職員を対象とした「心身障害児療育普及研修」「早期療育普及研修」を継続する	県総合療育相談センター	—
21		各種研修等の実施	喀痰吸引に関する研修や特別支援学校の生徒実習の受け入れなど、各種研修を継続する	社会福祉法人 みなと舎	—
22	一時預かり場所の不足	短期入所事業の実施	診療所の空床を利用した重症心身障害児者及び肢体不自由児を対象とした短期入所事業を継続する	県総合療育相談センター	—
23	サービス利用に結び付いていない方に手を差し伸べるのが困難	福祉用具体験会の実施	医療的ケア児を抱え得る家族は、インターネット等で情報を得ることができても、移動等の課題により体験をする場が乏しい。そこで、福祉用具業者にご協力いただき、特別支援学校等を会場として福祉用具体験会を開催したい。	神奈川県総合リハビリテーション事業団	横須賀市関係部署、特別支援学校、療育相談センター、（各相談支援事業所）



実施主体 協力機関 実施内容	横須賀市児童相談所 各関係機関 相談体制充実のため、関係機関との連携強化に努める	順次実施		状況報告	状況報告
実施主体 協力機関 実施内容	こども健康課 療育相談センター、障害福祉課、市医師会、各病院、福祉施設など 退院調整への積極的な関与 幼児期のコーディネート機能を担う	順次実施		状況報告	状況報告
実施主体 協力機関 実施内容	障害福祉課 各移動支援事業者、訪問看護ステーション、医療機関・市医師会など 移動支援の充実実現に向け検討を行う	検討		状況報告	状況報告
実施主体 協力機関 実施内容	市教育委員会 支援教育課 各訪問看護ステーション など 広報・普及啓発により勤務体系への理解を深めてもらい、看護師確保に努める	順次実施		状況報告	状況報告
実施主体 協力機関 実施内容	横須賀市教育委員会 支援教育課 各訪問看護ステーション 市立養護学校 など 学校における看護師の役割等について理解を深め、看護師の確保に努める。	実施について検討			状況報告
実施主体 協力機関 実施内容	横須賀市立養護学校 各訪問看護ステーション、市役所関係課 養護学校での看護師研修実施に向けた検討・調整を行う	実施について検討		状況報告	状況報告
実施主体 協力機関 実施内容	よこすか訪問看護ステーション 各訪問看護ステーション、福祉施設 同行訪問や実習の調整・検討・実施を行う	順次実施		状況報告	状況報告
実施主体 協力機関 実施内容	県総合療育相談センター 現状の取組みを継続・強化する	順次実施		状況報告	状況報告
実施主体 協力機関 実施内容	社会福祉法人 みなと舎 — 現状の取組みを継続・強化する	順次実施		状況報告	状況報告
実施主体 協力機関 実施内容	県総合療育相談センター — 現状の取組みを継続・強化する	順次実施		状況報告	状況報告
実施主体 協力機関 実施内容	神奈川県総合リハビリテーション事業団 横須賀市役所関係部署、学校、療育相談センター、相談支援事業所 など 横須賀地域での福祉用具体験会開催に向けた調整・検討を行う	実施について検討		状況報告	状況報告



実施主体 協力機関 実施内容	県医療課 県障害福祉課 各関係機関 医療的ケア児の実数・実態把握に努め、施策検討に資する	順次実施		状況報告	状況報告
----------------------	----------------------------------------------------	------	--	------	------



実施主体 協力機関 実施内容	障害福祉課 健康福祉センター、訪問看護ステーション、医療機関 など 非常用自家発電機等の購入経費補助について検討	実施について検討		状況報告	状況報告
----------------------	----------------------------------------------------------------	----------	--	------	------



実施主体 協力機関 実施内容	市教育委員会 支援教育課 — 医療的ケア児等のスクールバス利用について検討し、本会において状況の報告を行う	検討			状況報告
----------------------	-------------------------------------------------------------	----	--	--	------

### 実態把握

24	決まった調整役がおらず、また個別性も高いため、情報集約や事例積み重ねが困難	実数把握・実態把握調査の実施	① 診療報酬を元にした実数調査 ② アンケート形式の実態調査	①県医療課 ②県障害福祉課	関係各機関
----	---------------------------------------	----------------	-----------------------------------	------------------	-------

### その他

25	災害対策	非常時の電源確保	非常時電源確保のための設備。機器（自家発電機、無停電電源装置、予備用の複数のバッテリーなど）を日常生活用具の補助対象項目に追加する。	横須賀市障害福祉課	健康福祉センター、（各訪問看護ステーション・医療機関） など
26	スクールバス	医療的ケア児等のスクールバス利用可否の検討	看護師の乗車、バス・タクシーの次年度以降の状況を検討していく。	横須賀市教育委員会 支援教育課	—